

令和4年度「富士山の日」歴史講演会

動物食の考古学

～ヒトはいろいろな動物を食べて生きてきました～

まるやま まさし

講師 **丸山真史**

東海大学人文学部准教授

2023年

2/18(土)

13:30 受付
14:00 開演
16:00 終了

どのような動物をどのように食べてヒトは生きてきたのか、考古学的に解明される動物食の実態とその飲食風景を、静岡県の事例を交えてお話しします。

狩猟文鏡 (東京国立博物館蔵)



イノシシ_駿府城跡



ネコ_駿府城跡



ウマ_御殿川遺跡



イヌ_御殿川遺跡



タヌキ_長崎遺跡



ニホンジカ_御殿川遺跡



キツネ_御殿川遺跡



アナグマ_駿府城跡



イルカ_駿府城跡



ウシ_西向遺跡

会場 蒲原生涯学習交流館ホール (静岡市清水区蒲原新田 1-21-1)

定員 150人

参加費無料

＜お問い合わせ＞

静岡県埋蔵文化財センター

電話：054-385-5500 (平日 8:30 ~ 17:15)

URL：<https://www.smaibun.jp>



日本では仏教の影響から動物食は禁忌とされる傾向がありました。しかし、原始よりいろいろな動物が食べられており、仏教伝来後の度々の禁令や動物食に対する禁忌の広まりによっても、貴重な栄養源として或いはごちそうとして動物食は続けられてきたのです。今回の講演会では、どのような動物をどのように食べてヒトは生きてきたのか、考古学的に解明される動物食の実態とその飲食風景を、静岡県内の事例を交えてお話しいたします。



<講師紹介> 丸山 真史(まるやま まさし)氏
 東海大学 人文学部人文学科 准教授
 立命館大学 文学部 史学科卒業(2001年)・京都大学大学院 人間・環境学研究科博士
 後期課程修了(2009年)博士(人間・環境学)(京都大学)
 東海大学 海洋学部 海洋文明学科 講師 (2015年～)、2022年より現職
 論文:「中世の大食い -特集 飲食の風景と考古学」『季刊考古学159』pp. 61-63 雄山閣
 2022年、「静岡県におけるイルカの食文化と消費動向」『東海大学紀要海洋学部 第17 巻』
 pp. 57-65 東海大学海洋学部 2019年
 著書:「動物考古学の今」『季刊考古学144号』雄山閣 2018年(共著)、「動物考古学論」
 『松井章著作集』新泉社 2021年(共編)

<申し込み方法>

応募は、ふじのくに電子申請サービスと往復はがきでお受けします。

往復はがき

右の記載例を参考にしてください。

ふじのくに電子申請サービス

センターホームページ内のリンクから申し込みができます。
 下のQRコードからアクセスできます。
 入力項目は以下の通りです。
 氏名とふりがな、居住地、メールアドレス
 3名様まで同時にお申し込みが可能です。
 申込みが完了しましたら、受付メールが発送されます。

応募締切日

2月12日(日)です。
 応募者多数の場合は抽選を行い、結果をお知らせします。
 結果通知が届かない場合、お手数ですがセンターまでご連絡ください。
 新型コロナウイルスの感染拡大がございましたら、講演会を中止することがあります。その際は別途通知いたします。



往信の面 往復はがきの記載例

郵便往復はがき 63 4213203 往信	ふじのくに 何も書かなくていい。
静岡市清水区蒲原 5300-5 静岡県埋蔵文化財センター 歴史講演会係宛	

返信の面

郵便往復はがき 63 □□□□□□ 返信	令和4年度歴史講演会への 参加を申し込みます。
〇〇市〇〇123-4 埋文太郎 様	・お名前 (ふりがな) ・お名前 (ふりがな) ・お名前 (ふりがな) ※同時に3名様まで記入可 (申込み者と別住所の場合は 参加者の住所) ・電話番号 (参加可否連絡用)

会場略地図

